

ケニア人教師が日本の学校で理科の公開授業を実施 ～生徒中心の教授法導入のために～

JICAの「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」として(株)ナリカが実施中の「ケニア国児童・生徒中心の学習を支援する理科教材の普及・実証事業」の一環で、日本の理科教育に関する政策や教授法を学ぶため、ケニア教育省幹部と理科教師の計6名が来日しています。

来日中に学んだ、「生徒中心の教授法」を実践する機会として、4月25日・26日に、ぐんま国際アカデミー中学高等学校（群馬県太田市）と共立女子中学高等学校（東京都千代田区）において、ケニア人理科教師が英語で公開授業を行います。

是非取材をご検討ください。

【日程】（全てのセッションが取材可）

4月25日（火）ぐんま国際アカデミー中学高等学校	4月26日（水）共立女子中学高等学校
14：00-16：00 研究授業	14：00-16：00 学校見学（授業見学）
16：00-17：00 生徒との交流、教員との意見交換	教員との意見交換
	16：00-16：40 公開授業
	16：40-17：00 交流会

【(株)ナリカによる普及・実証事業の概要】

ケニアの理科教育では、教師が一方向的に話しをする方式で、教材不足もあり実験もあまり取り入れられていない。本事業では、現地ニーズに基づき開発した教師用デモ理科実験セット「ナリカ・サイエンス・ワゴン」を20校のパイロット校に配布し、実験を取り入れた、生徒中心の教授法の導入を支援中。



現地小学校で理科の実験を行う(株)ナリカの社員



ナリカ・サイエンス・ワゴンを使って授業を行う教師

【JICA 中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業】

http://www.jica.go.jp/sme_support/index.html

中小企業等からの提案に基づき、途上国の開発課題の解決活用できるポテンシャルを有する製品・技術等の現地適合性を高めるための実証活動の実施および普及方法の検討を目的とした事業。

【(株)ナリカ】 <http://www.rika.jp/>

約100年に渡り全国の学校の理科実験機器の企画と製造・販売をしており、30年ほど前から米国、台湾、韓国に理科実験機器を輸出。ODAをきっかけにケニア国への事業展開を模索中。

【問い合わせ先】 *取材いただける場合、4月24日（月）15時までにご一報下さい。

JICA 広報室報道課：宮田 / TEL：03-5226-9780 / email：Miyata.Naoaki@jica.go.jp